

わたしたちの物語く人生旅行記く

92 才女性 & 大正大学社会福祉学科3年

武澤 心さん

大正大学社会福祉学科3年

高石 拓実さん

生まれは荒川区日暮里よ。

兄が二人、姉が一人、でワタシと弟で五人兄弟。

昔はね、五人七人があたりまえ、産めよ増やせよでしたよね。

小さい頃は苦勞したものですよ。

戦争が終わって、やっと普通の生活が出来るようになったの。

高校生になって女学校に入ったわ。

家が苦しいから、バイトをしてお小遣いを稼いだね…。

バイトは日本橋でお煎餅つめなど。

夏休みなんかもバイトしてました。

ワタシの頃は大学に行く人なんか学年に一人や二人しか居なかったのよ。

若い頃は本当に大変だったのよ。

卒業してからよ。新しい人生が始まったの。

ワタシは旅行が大好きでね、

毎月、国内旅行に行っていましたよ。

友達や娘とも。国外が年に一・二回くらいわね。

それと主人が車を出してくれて、いろんな所にも行きましたのよ。

旅先では、主人が大好きなお酒を一番先にお土産にと、買っていきました。ワタシは飲めないけどね。

ツーリストのない時代だからね、高島屋に行つて、自分で計画を立ててね、それで申し込んで、いろんな所に行つたのよ。それが記憶に残つてね、良かったですよ。

九州の旅の時は「なんか間に合わない」つて言つて線路の上を駆け出して…笑
海外には香港とシンガポール、ヨーロッパ、カナダ…
ヨーロッパはね。若い頃から何度も行きました。

印象に残っているのはカナダの、メープルの木。
オレンジ色がものすごくきれいでした。

あなたも、旅行に行きたいなら丈夫な若いうちに行かなきゃダメよ。

他にもいろんな事をやってみたわ。

特に書道や短歌。いろいろあつたけれど、書道は七十年続けたわ。
研修には熱海に、教えには大阪や横浜に行つたの。
最後までやり切れたことが、とても嬉しかった。

今は麻雀が楽しいわね。

まだ初歩の段階ですれども、
やっと仲間を見つけて麻雀が出来るから、
ほどほどに楽しんでいきますね。

やってみたいことを若いうちに。
色々経験するといいわよ。

